

月刊 きょうと教育通信

Vol. 26 平成17年2月号 発行:京都市教育委員会企画課(222-3768)

京都市教育委員会のHPは<http://www.edu.city.kyoto.jp/>でご覧いただけます。広報資料は毎日更新しています。

平成17年度教育予算(案)発表 ~ 聖域のない事業の見直しで財源を捻出~ 全国をリードする“京都ならではの教育改革”を強力に推進!

「教育改革」推進を支える17年度予算(案)

平成17年度京都市当初予算(案)は、極めて厳しい財政状況のもと、「京都市財政健全化プラン」策定以後、初の予算として編成され、現在開会中の2月定例市議会で審議されています。

教育委員会では、全事業のゼロベースからの見直しや人件費の削減、PFI手法の活用など、聖域のない事務事業の見直しを図り、それによって捻出した財源をもとに、学力向上や英語・環境・理科・道徳・読書など、昨今の重要な教育課題に対応する、更なる教育改革に積極果敢に取り組むとともに、あらゆる分野へのボランティアの導入などによる「開かれた学校づくり」や、予算執行における学校裁量権限の拡充などによる「特色ある学校づくり」をより一層推進します。

【17年度 主な新規事業】

学力向上

- 「京(みやこ)・英語スタンダード」推進(1億7,500万円)
- ~ 全小学校での外国人指導員による活動や中学卒業時の目標作成等 ~
- 新・中学校ステップアップ指導プラン(1,000万円)
- ~ 発展的な内容を盛り込んだ本市独自の年間学習計画を作成 ~
- 市立学校全校に「子ども図書ナビ」設置(2,000万円、総額1億円)
- ~ コンピュータで蔵書や貸出・返却等を管理、5年間で全校図書室に設置 ~

安全対策

- 小・中・総合養護全校に校内インターホン設置(4,500万円、総額2億2,500万円)
- ~ 教室・職員室間に5年計画で設置し、校内の安心安全ネットワーク構築 ~
- 子どもの安心安全情報発信機能を持つ、PTA・おやじの会ホームページの構築(1,805万円)
- ~ 各学校単位で子どもの安心安全等の情報を保護者の携帯電話等へメール配信 ~

総合養護学校の充実

- 総合養護学校版デュアルシステム研究(200万円)
- ~ 白河・鳴滝総合養護学校高等部職業学科の卒業生の100%企業就職を目指し、企業との連携による長期職業訓練 ~

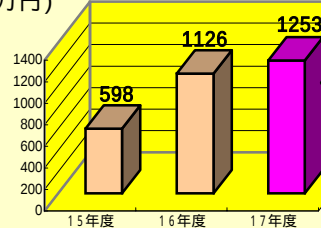
音楽高校改革

- 「音楽高校ルネサンス」推進事業(1,100万円)
- ~ 音楽高の将来構想策定、PFI導入も視野に入れた学校移転等 ~

京都創生策

- 「京都大百科事典的図書コーナー」図書購入(7,000万円)
- ~ 右京中央図書館(仮称)に京都に関する資料等集積コーナーを設置 ~

1校あたりの学校裁量予算の推移
(万円)



特色ある学校づくりの一層の推進に向け、17年度には、新たに小修繕費等を合算執行に組み込むなど、学校裁量権を更に拡大。

来年度の学校運営費はほぼ前年度並に!

16年度から従来の事業別予算を統合し、学校の裁量を大幅に拡大(合算執行)している学校運営費については、本市の厳しい財政状況の中、光熱水費を除く部分を約3%(1校あたり約19万円)減額していますが、4月から電気料金が約5%値下げとなるため、実質的には教材費等はほぼ前年度並を確保しています。

なお、子ども1人あたりの学校運営費は、ここ10年間で12%の増額となっています。

教育予算は前年度比2.2%増

項目	教育費	内 訳		
		学校等運営費	建築等施設整備費	人件費
17年度	533億6700万	162億9007万	137億5292万	233億2400万
16年度	521億9500万	161億3046万	128億2754万	232億3700万
増 減	11億7200万	1億5961万	9億2538万	8700万
前年比	2.2%増	1.0%増	7.2%増	0.4%増

全国初!! 学校・家庭における 子どもたちのインターネット活用指針策定

1月14日、子どもたちのインターネット等「活用指針」検討プロジェクト(座長:井上新二京都市総合教育センターカリキュラム開発支援センター担当課長)から門川大作教育長に報告書が提出されました。

この報告書は、昨年6月の長崎での痛ましい事件を契機として、子どもたちとインターネットとの関わりが大きくクローズアップされ、また、今年度からの5ヵ年で全小・中学校の「校内LAN整備」事業に着手している状況の下で、社会的、心理的背景の分析に立脚した子どものインターネット利用に関する「活用指針」として作成されたものです。

報告書では、学校における体系的な情報モラル教育指導資料を策定するとともに、家庭におけるインターネット活用指針を示しています。

学校における指導計画

小学1年から中学3年までの情報モラルについての系統的な学習指導計画を策定。

小学校では、コンピュータの使い方、情報発信、楽しい交流、著作権、情報選択、セキュリティの6領域、計24回(25分/回)の指導事項を設定。

中学校では、電子メール、電子掲示板・チャット、Webページ、ネット売買の4領域、計9回(25分/回)の指導事項を設定しています。

家庭におけるインターネット活用指針

家庭で子どもがインターネットを利用する際の“守るべきルール”を設定しています。

- (1) 利用開始は小学校2年生以上から
- (2) 使用目的や用途を把握する。
- (3) インターネット(パソコン)の使用時間を決める。
- (4) パソコンは、居間などの家族の共有場所に設置する。
- (5) ホームページを作成しているときは、事前に確認する。
- (6) 有害サイトへの接触を防止する。(フィルタリング・ソフトを導入する。(http://www.iajapan.org/rating/))
- (7) 掲示板、チャットの利用は原則として禁止する。
- (8) 子どもとともに学びましょう。



本市では、今年度、教員のパソコン指導可能率100%(全国初)を達成しています。

ご意見・お問合せ = 情報化推進総合センター
(841-3505)

塔南高等学校吹奏楽部 初の全国大会で最高位の栄冠!

塔南高校の吹奏楽部(部員84名)と卒業生らでつくるマーチングバンド「ザ・グリフォonz」(平成6年結成)が、1月16日に日本武道館で開催された第32回マーチングバンド全国大会に、関西代表として初出場。真の文武両道を掲げる同校の100人を超えるメンバーが、息の合った迫力ある演舞を披露し、プロも参加した本大会で全国の強豪チームをおさえ、高校生の参加チームとしては最高の11位に輝きました。

本市では、同校吹奏楽部の栄誉を称え、「京都市立学校文化芸術賞」を授与。2月14日に表彰式を行いました。



初出場ながら堂々たる演舞で観客を魅了した「ザ・グリフォonz」

ご意見・お問合せ = 学校指導課 (222-3808)

今月の主なできごと

- 5日 不登校フォーラム。不登校の子どもたちへの対応・支援の在り方について、関係者の参加の下、活発にグループ議論。
- 6日 小学校大文字駅伝。52チームの児童が沿道の大きな声援を受けながら力走。
- 10日 高倉小研究発表会。全国から参加した教職員800人が学校・地域・保護者・大学が連携した学校作りの重要性を認識。
- 11日 京都議定書発効記念子ども環境フォーラム。学校・地域の環境に関する実践発表等を通じ、一層の取組展開を誓った。
- 16日 文科省が設置した「教員養成系学部等の在り方調査研究者会議」初会合。委員に就任した門川教育長が出席。
- 17日 小学校PTA連絡協議会と「おやじの会」が家庭や親のあり方について討論会を開催。父・母200人が本音で意見交換。
- 24日 総合養護学校全7校の研究報告会。文科省研究指定の実践を全国に発信。
- 26日 教育研究発表会。総合教育センター研究員が今日のエデュケーション課題についての研究成果を全国各地の教員等を前に発表。

2/26(土)...人づくりフォーラム「守りたい子どものいのち いま行動のとき!」開催...霧の岬命の診療所の赤ひげ先生こと道下俊一氏の講演や河合隼雄代表との対談。(於:国立京都国際会館)